

『第9回緩和ケア市民公開講座』～地域で支えるがん緩和ケア～
「乳がんが教えてくれた 私らしい生き方」のアンケート結果

日 時：平成27年11月28日（土）14:00～16:10（開場13:30）
 場 所：三川町 いろり火の里 なの花ホール

庄内プロジェクト「緩和ケアについて」

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 センター長 鈴木 聰

パネルディスカッション：「この地域の乳がん検診について考えてみよう」

コーディネーター 庄内病院外科医長 鈴木 聰

パネリスト 庄内地区健康管理センター 五十嵐 ちづる

庄内病院 乳がん看護認定看護師 竹内 梨紗

鶴岡市健康課 増田 富美子

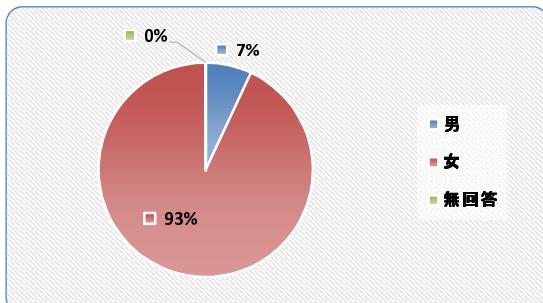
講演：「乳がんが教えてくれた 私らしい生き方」

講師 モデル 園田 マイコ 氏

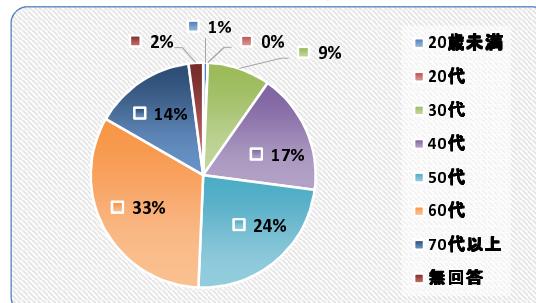
参加者数：180名（スタッフ含む） アンケート協力者：144名（80%）

1. あなた自身について

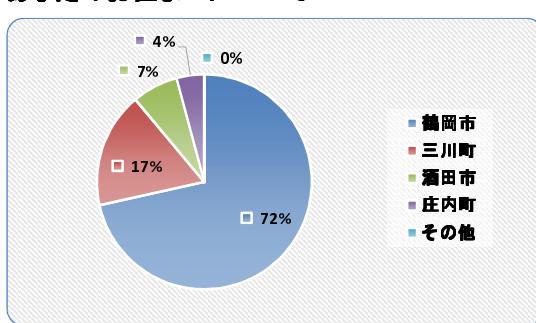
1-(1)性別



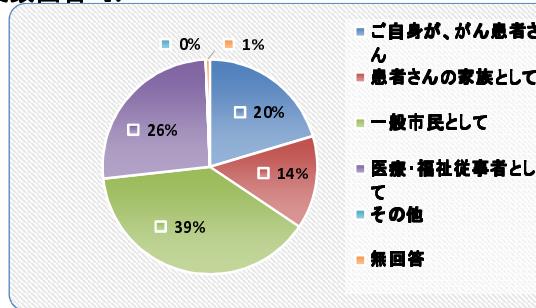
1-(2)年代



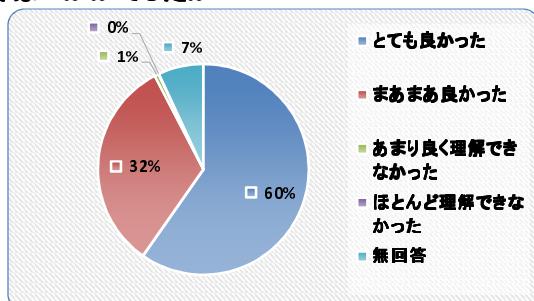
2. あなたのお住まいについて



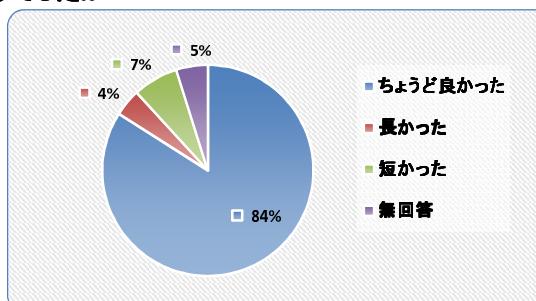
**3. あなたのお立場を教えてください
(複数回答可)**



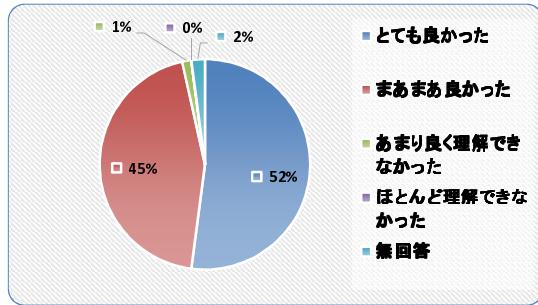
4. 庄内プロジェクト「緩和ケアについて」の内容はいかがでしたか



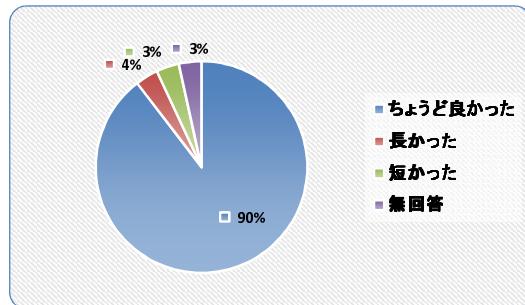
5. 「緩和ケアについて」の時間の長さはどうでしたか



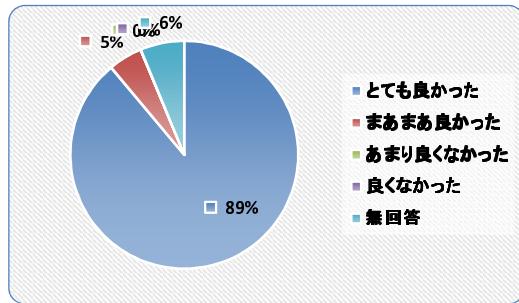
6. パネルディスカッション」の内容はいかがでしたか



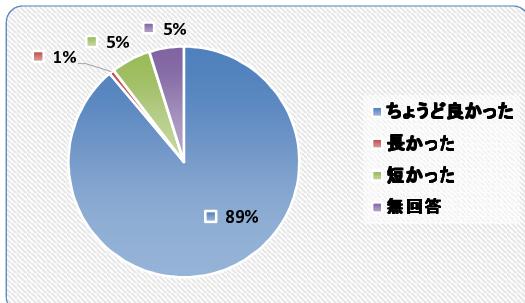
7. パネルディスカッション」の時間の長さはどうでしたか



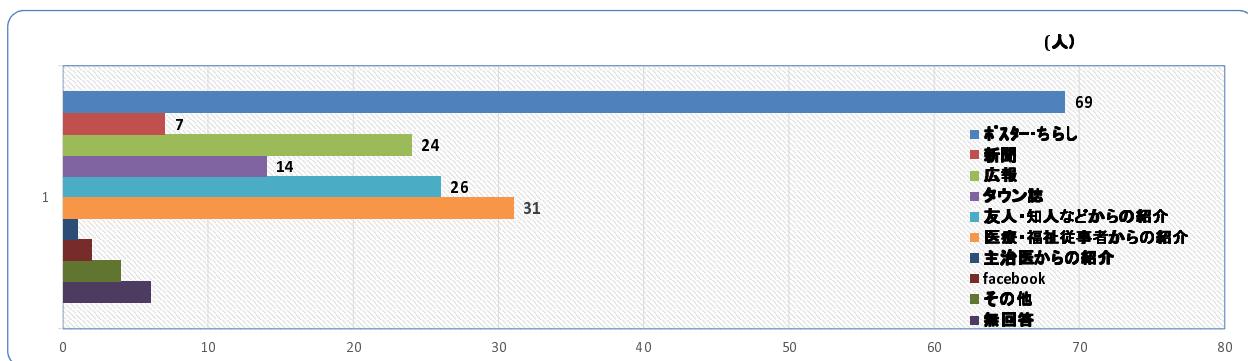
8. 講演「乳がんが教えてくれた 私らしい生き方」の内容



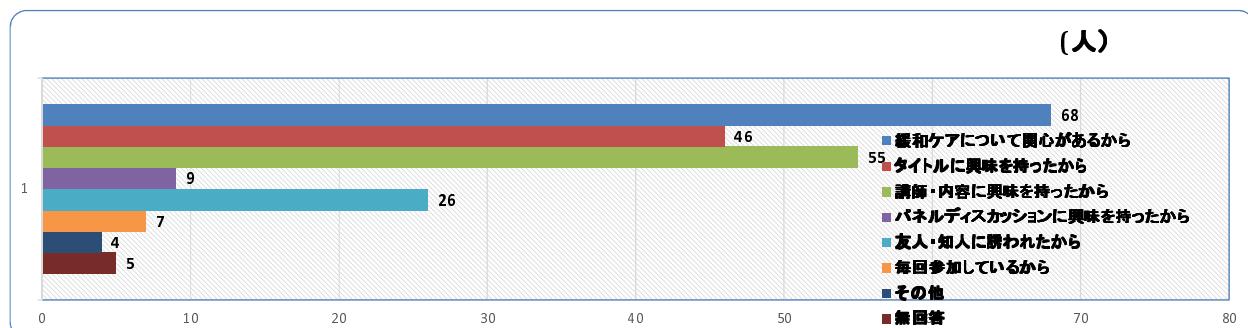
9. 講演の時間の長さはどうでしたか



10. 今回の「緩和ケア市民公開講座」をどのようにしてお知りになりましたか(複数回答可)

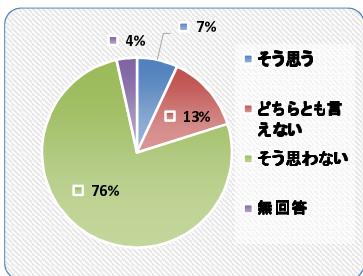


11. 今回の「緩和ケア市民公開講座」に参加しようと思ったきっかけは(複数回答可)

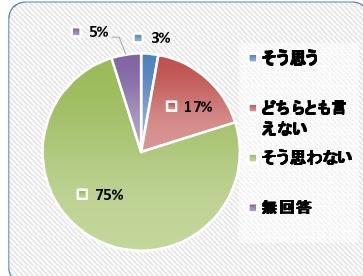


12. 緩和ケアや在宅医療についてのあなたのイメージについてうかがいます。あてはまるものをお選びください。

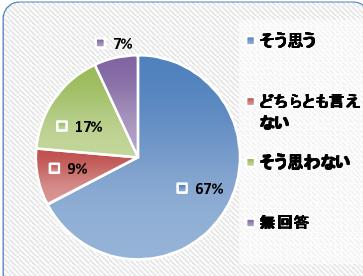
①がんになっても病名を告知されたくない



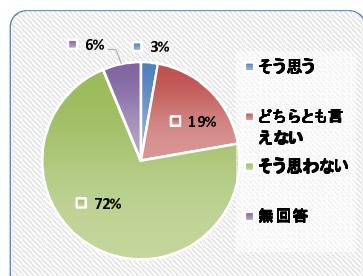
②緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける医療・ケアである



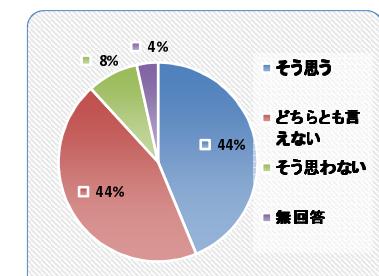
③緩和ケアとは、化学療法や放射線治療など、がんに対する治療と一緒にに行うものである



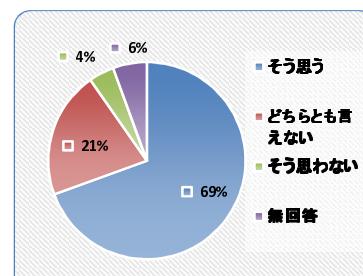
④医療用麻薬を使用すると中毒になる



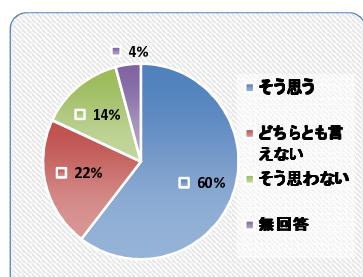
⑤あなたが、がんだったら、亡くなる最期は自宅で過ごしたいと思いますか



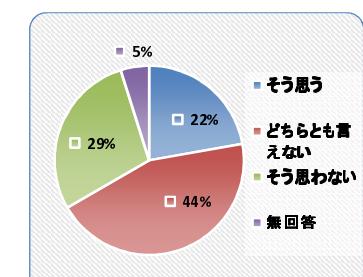
⑥自宅で療養することは、介護してくれる家族に負担が大きい



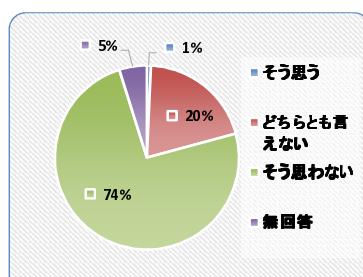
⑦自宅では、症状が急に悪くなったときの対応が不安である



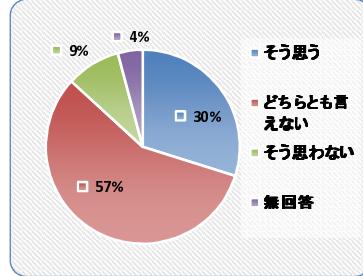
⑧自宅では十分に苦痛をやわらげることができない



⑨自宅で最期を見取ることは、家族が患者に十分な医療を与えていないことになると世間から思われる



⑩この地域ではがんになっても安心して過ごせると思う



※本日の緩和ケア市民公開講座についてのご意見、ご感想、ご要望等がありましたらご自由にご記入ください。

また、今後取り上げてほしいテーマなどがありましたら、ご記入下さい。

・ 大変すばらしかった。今後もいろんながんの闘病のお話を聞きたい(私も肺がんです)(女性、70代)

・ 講演後、質疑の時間が欲しかった。他の部位のがんテーマにも興味があります。アラフォー女性全般のテーマなど。(女性、40代、がん患者)

・ 70代に入り、安い年金暮らしです。今のところは健康ですが、この先がんなどになって娘に負担をかけたくない。病院・施設などにお世話になりたくても金銭的に不安です。

・ 園田さん、とてもキレイでステキでした。お疲れ様でした。

・ 講演、とても感動いたしました。美しかったです。初めて参加させてもらいましたが、また来年も参加したいと思います。関係者の皆様ありがとうございました(女性、60代、一般住民)

・ 来てよかったです。感動のお話(講演)でした。ありがとうございました。(女性、60代、一般住民)

・ 初めて参加しました。大変参考になりました。改めて健診の大切さを痛感いたしました。実体験の話は説得力があります。素晴らしいです。(女性、60代、医療従事者)

・ いつも園田さんのブログを拝見していて、昨夜園田さんが庄内空港に降りたつたことを知り、ネットで今日の会を調べてきました。私自身もフルコース中です。美しいマイコさんに勇気をいただきました。(女性、50代がん患者)

・ 毎年大変すばらしい市民公開講座の開催をありがとうございます(男性、50代、医療福祉従事者)

・ 初めて参加させていただきました。私は再発性乳がんと耳が聞こえません。これと闘っております。チラシを見てすぐに申込み色々と勉強になりました。外に出るのが億劫になってたときでした。本当はおしゃべりが大好きなのに！！今日は和やかな雰囲気が素晴らしいマイコさんの生の体験を聞いて心の奥底まで深く感動しました。エネルギーをたっぷりいただきこれから諦めずに頑張っていきます。人のために…(女性、70代、がん患者)

・ 若くしてがんになり乗り越えて活躍している方の講演はとても素晴らしかった。がんになっても働き続けられる。居場所がある。事が大切だと改めて感じ、そんな社会づくりが必要だと思いました。(女性、50代、一般住民)

・ メモ用紙が一枚あれば良いと思った。(女性50代、一般住民)

・ マイコさん！元気をいっぱいもらいました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。(女性、60代、患者家)

・ 今日の話を聞くことができて大変良かった。また、機会があれば参加したいです。(女性、60代、一般住民)

・ 園田さんの講演はとても感動しました。がん検診は必ず受けます。(女性、60代、一般住民)

・ がん検診受診率の低さに驚くと共に、医療機関従事者の早期発見についての熱心さに改めてその意義を感じました。しかしながら、自分の身に置き換えると特に乳がん検診は受診しづらく、自分は絶対に縁のない病気と勝手に決めつけている部分もあり、今すぐにも受診というわけにはいかず…。園田氏の講演は、がん患者の心理の変化、現在に至るまでの経緯が手に取るようにわかり、感動しました。今後の自分の健診などについて違った考えが芽生えそうです。(女性、60代、一般住民)

・ がん、手術による痛み、抗がん剤治療や放射線治療と戦っている患者、家族、友人としてどう支えて行けばよいのか具体例等教えていただきたい(女性、50代、患者の友人)

・ 乳がんの実際の経験者の講演は胸にどーんときました。これからもやはり、経験談を聞かせていただきたいと思いました。(女性、60代、一般住民)

・ 乳がんのセルフチェックについて知りたい(女性、30代、医療・福祉従事者)

・ がんにならないように。検診について。あきらめない。ひと言、ひと言語されて感動した。(女性、60代、医療福祉従事者)

・ 認知症について知りたい(女性、20代未満、一般住民)

・園田マイコさんがとてもきれいな方で、これからも活躍していただきたい。改めて検診の大切さを知り、行ってみようと思った(女性、30代、患者家族)

・パネルディスカッションがとても良かったです。日曜がん検診も取り入れているとのことで、すごいと思います。検診の大切さを改めて理解できました。(自分は定期的に受けています)園田さんの講演は凄く心が打たれました。家族の支えの大切さを感じました。ありがとうございます。(女性、60代、一般住民)

・今日の講座に参加してほんとうに良かった。ありがとうございました。(女性、70代、一般住民)

・園田マイコさんのお話は、とてもわかりやすく聞きやすかった。知人の70代男性(すい臓がんその他)がなくなつたばかりで、癌にはなりたくないと思った。とてもジンと来ました。(女性、60代、一般住民)

・友人も胃がん、乳がん、子宮がん、すい臓がんなどで亡くなりました。がんに対してはどんなことにも耳を傾けています。このような機会をいただいてありがとうございました。(女性、70代、一般住民)

・緩和ケアの概要については理解できましたが、もう少し具体的な内容についても知りたかったです。(女性、40代、患者家族)

・がんの治療法についてどんな方法があるのか詳しく知りたい。(女性、50代、一般住民)

・マイコさんのご講演は大変良かった。自分ががんになることを考えると今日のがんの講演は大変勉強になりました。ありがとうございました。(女性、60代、一般住民)

・知人、友人に広めていきたいと思います。今現在、園田さんと同じ体験をしている上体です。手に取るように説明、お話、とても良かったです。ありがとうございました。(女性、60代、がん患者)

・禁煙・メタボについて知りたい(女性、60代、一般住民)

・園田マイコさんともステキでした。感動しました。私も寝る前に声を出して一日に感謝してから眠るようにしたいと思います。(女性、50代、医療福祉従事者)

・私は乳がんとは縁が無さそうですが、他のがんになる可能性はあると思います。実際がんになった時に、自分自身がどうのよう^{に生きていか}くか!を講演を通して考えさせられました。生活習慣が大事だということも知りました。(男性、30代、医療福祉従事者)



ご協力ありがとうございました。

南庄内緩和ケア推進協議会

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川